霧島山（えびの高原(硫黄山)周辺）の火山活動解説資料

福岡管区気象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台

＜噴火予報(活火山であることに留意)を火口周辺警報(火口周辺危険)に引上げ＞

本日（28 日）、えびの高原（硫黄山）周辺の浅いところを震源とする火山性地震が増加し、11 時までに 36 回発生しています。

えびの高原(硫黄山)周辺では火山活動が高まっており、噴気や火山ガスなどが噴出し、今後状況によっては小規模な噴火が発生する可能性があります。このため、本日（28日）11時00分に霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。

えびの高原の硫黄山から概ね１km の範囲（図６）では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

○活動概況

・地震や微動の発生状況（図１～３）

本日（28 日）、えびの高原（硫黄山）周辺の浅いところを震源とする火山性地震が増加し、11 時までに 36 回発生しました。火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図４）

傾斜計[1)]の観測データに特段の変化は認められません。

・噴煙など表面現象の状況（図５）

遠望カメラによる観測では、噴気の状況に特段の変化は認められません。

1）火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。1 マイクロラジアンは 1 km 先が 1 mm 上下するような変化です。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ（http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/）や気象庁ホームページ（http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html）でも閲覧することができます。この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、宮崎県及び鹿児島県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50ｍメッシュ（標高）』『基盤地図情報』『基盤地図情報（数値標高モデル）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

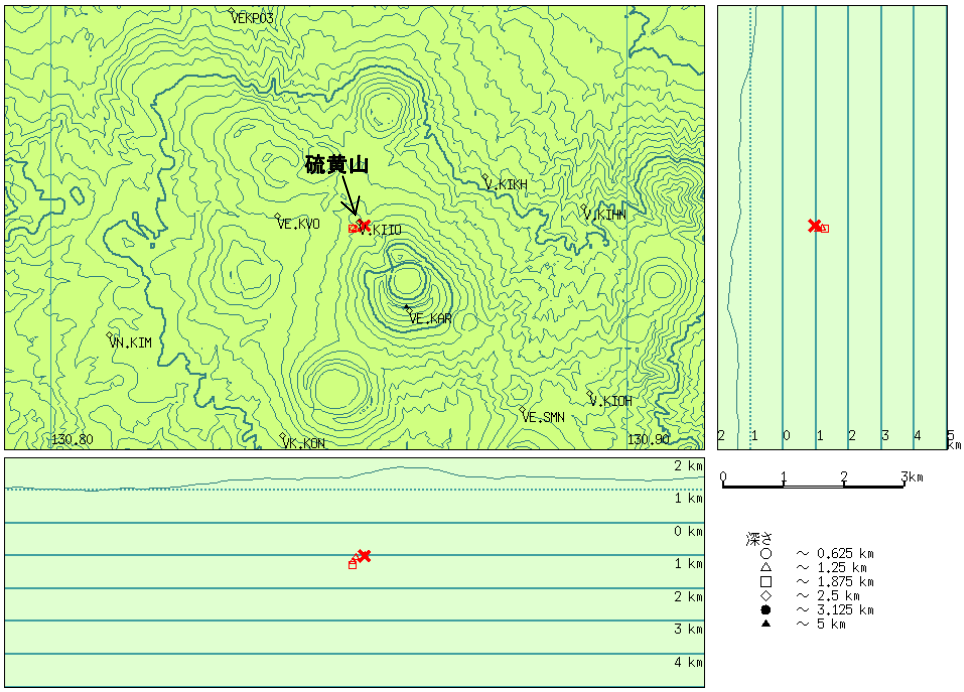

図１　霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）　２月 28 日に発生した火山性地震の震源
・硫黄山直下の海抜下０～１km 付近で発生しています。

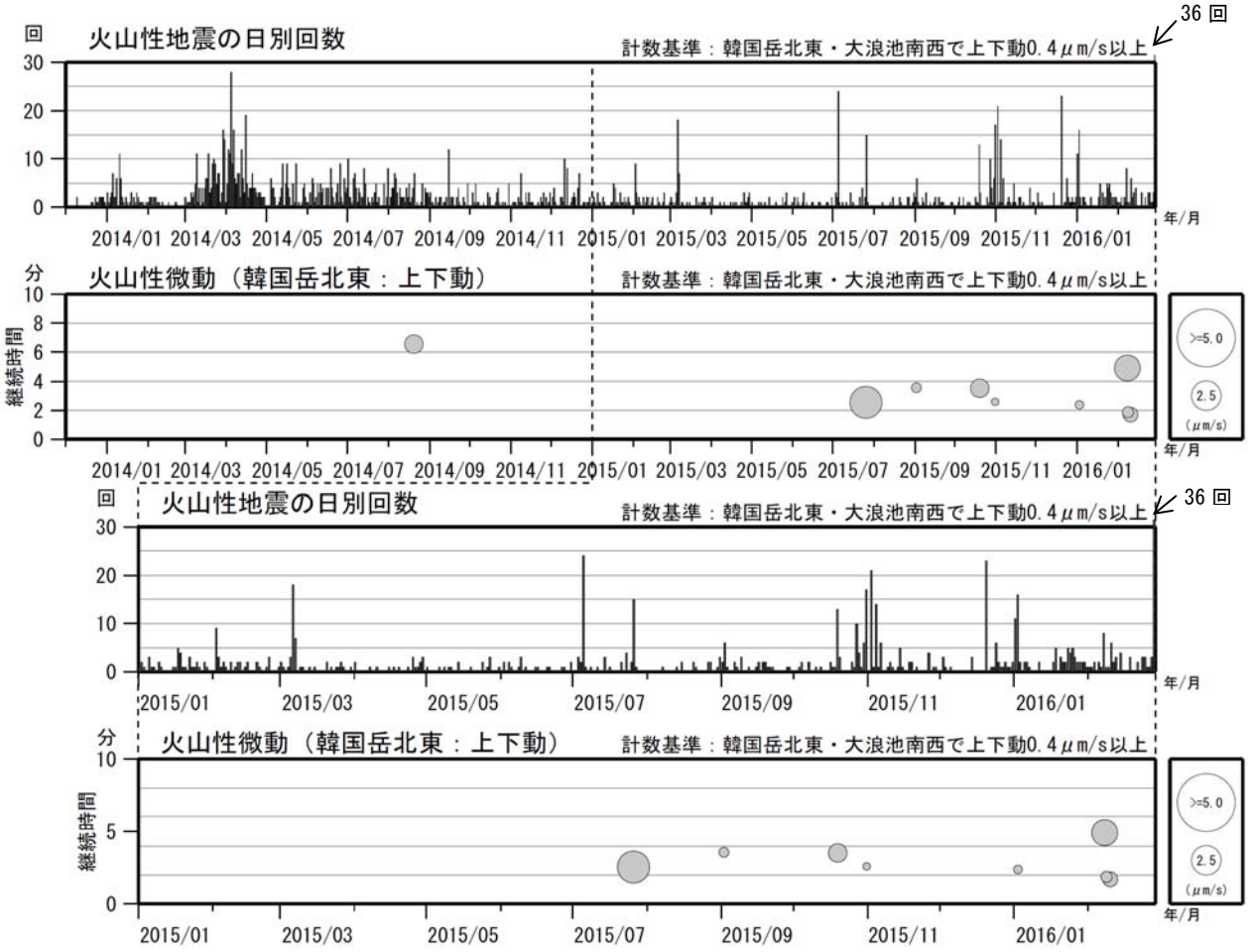

図２　霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）　火山性地震と微動の発生状況
（2013 年 12 月１日～2016 年２月 28 日 11 時）

・火山性地震は、本日（28 日）11 時までに 36 回発生しました。

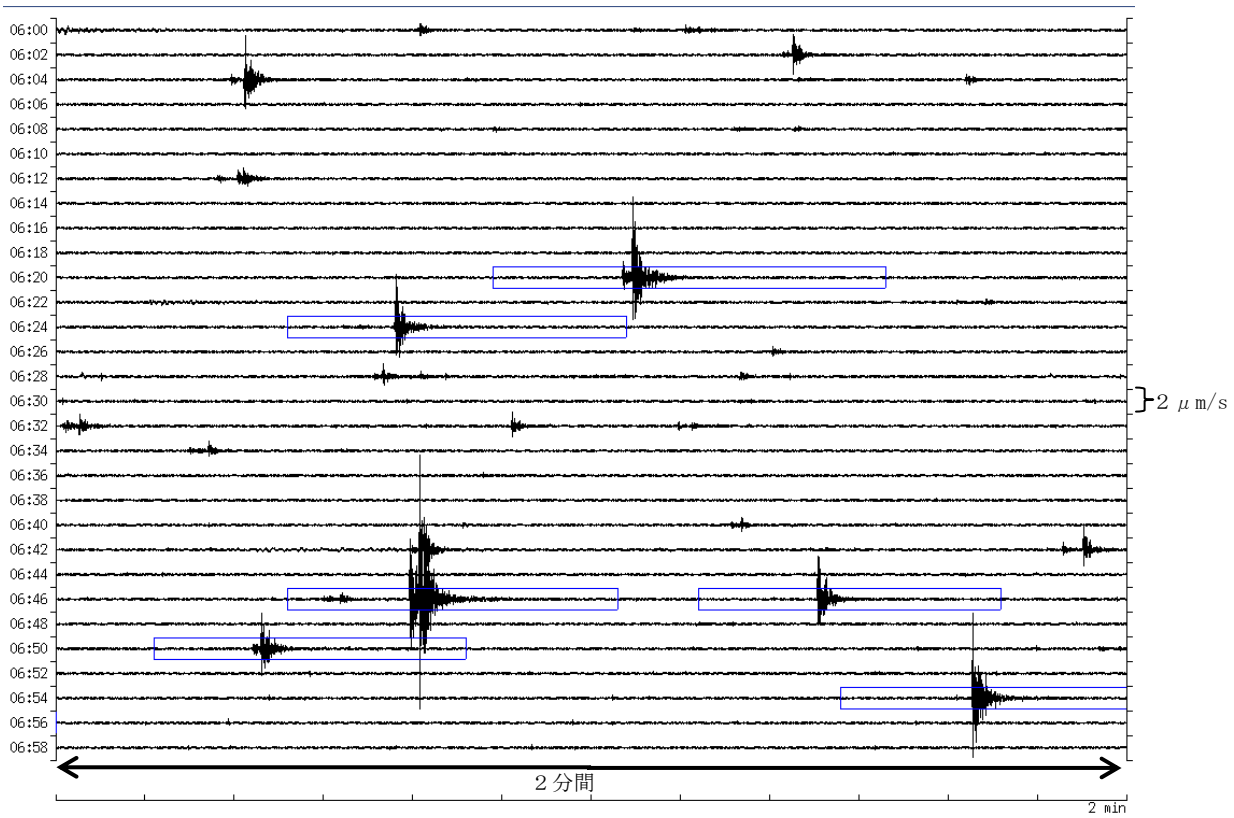

図３　霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）　28 日 06 時 00 分～07 時 00 分の火山性地震の波形

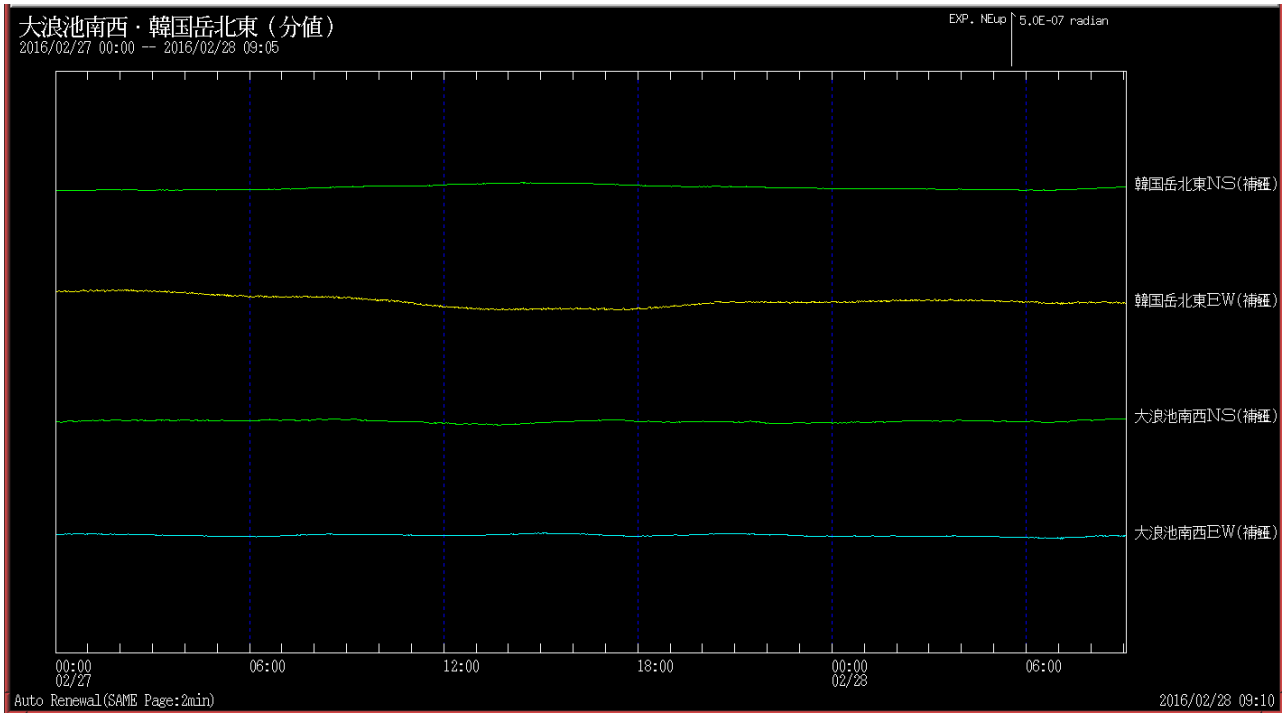

図４　霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）　傾斜変動（27 日 00 時 00 分～28 日 09 時 05 分）

傾斜計の観測データには特段の変化は認められません。

図５　霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）　硫黄山付近の状況
（２月 28 日、えびの高原カメラによる）

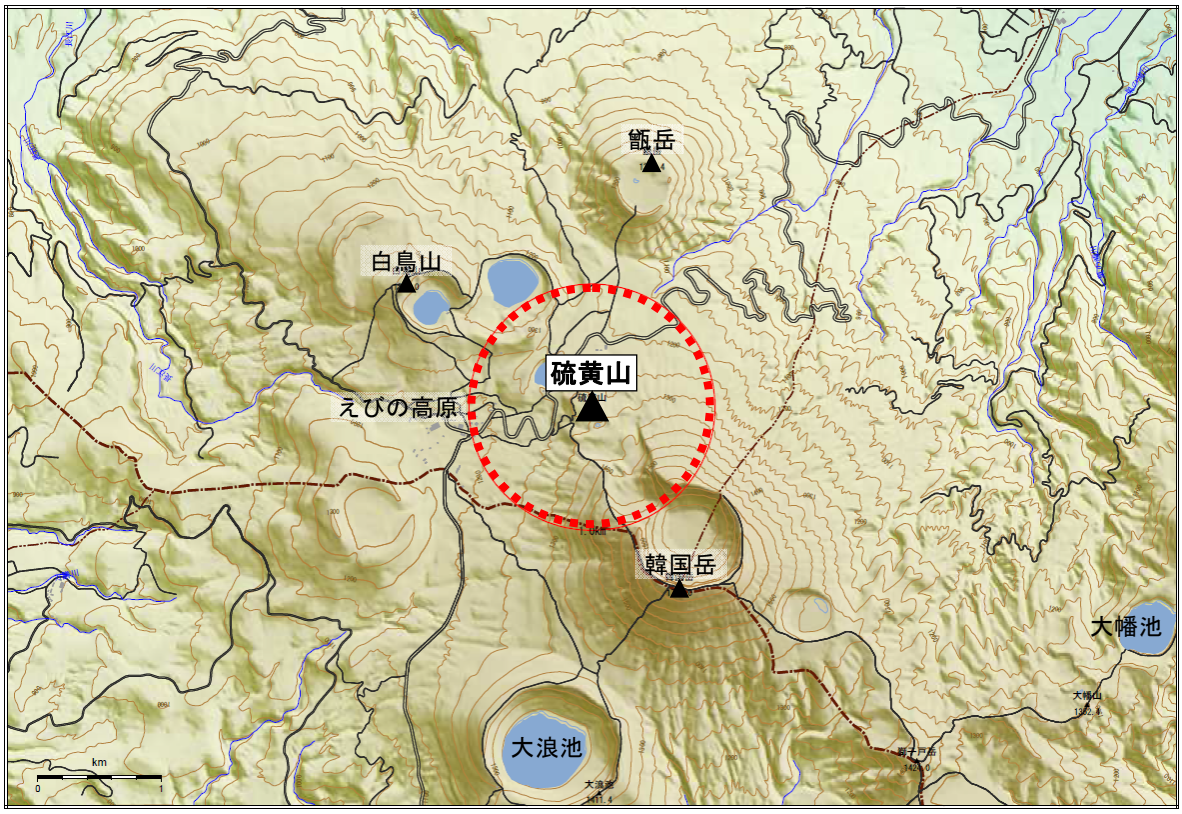

図６　霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）　警戒が必要な範囲
・硫黄山から概ね１km の範囲

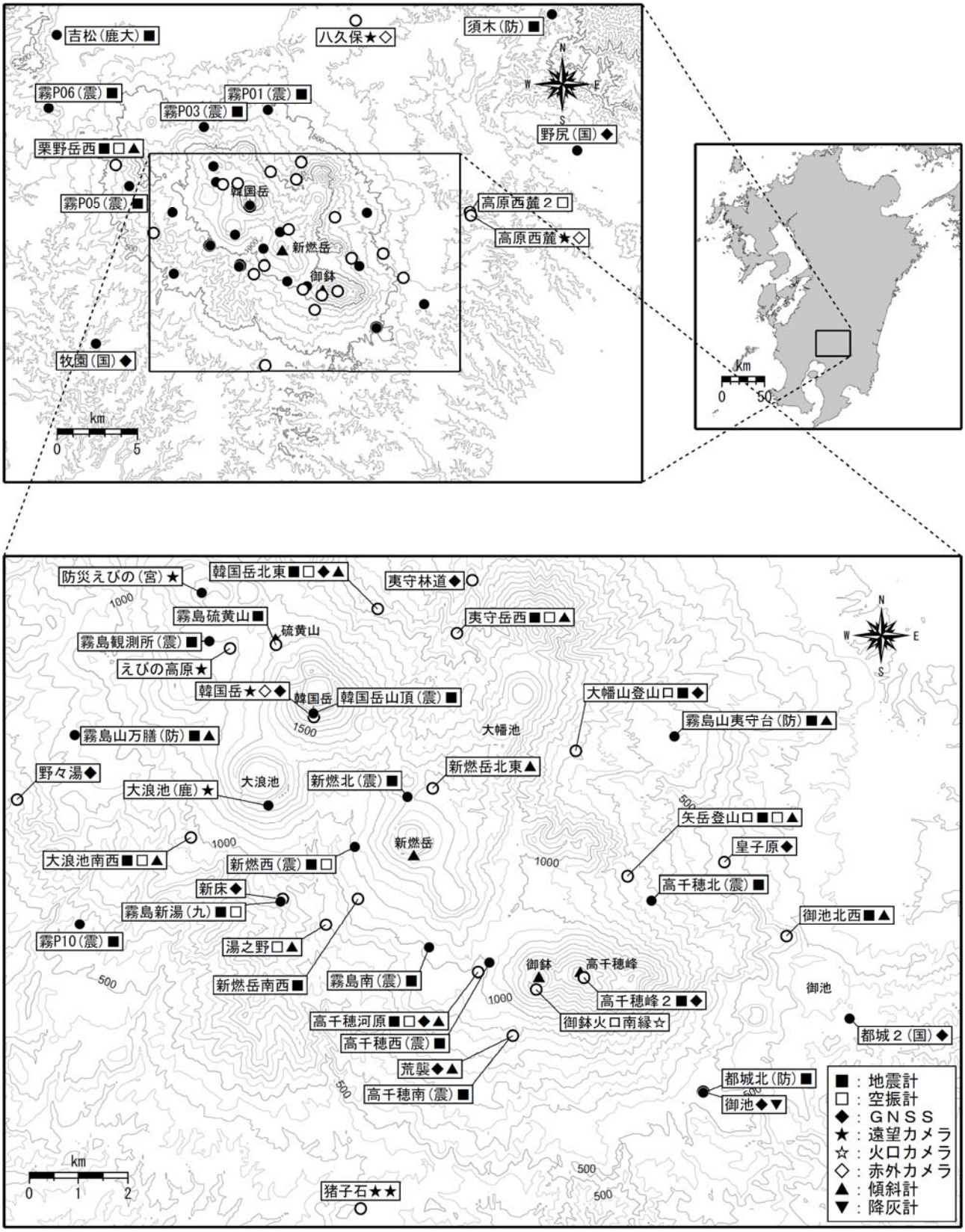

図７　霧島山　観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所、（震）：東京大学地震研究所
（九）：九州大学、（鹿大）：鹿児島大学、（宮）：宮崎県、（鹿）：鹿児島県